

図 2.14(2) 日平均塩分の比較 (2001 年度)

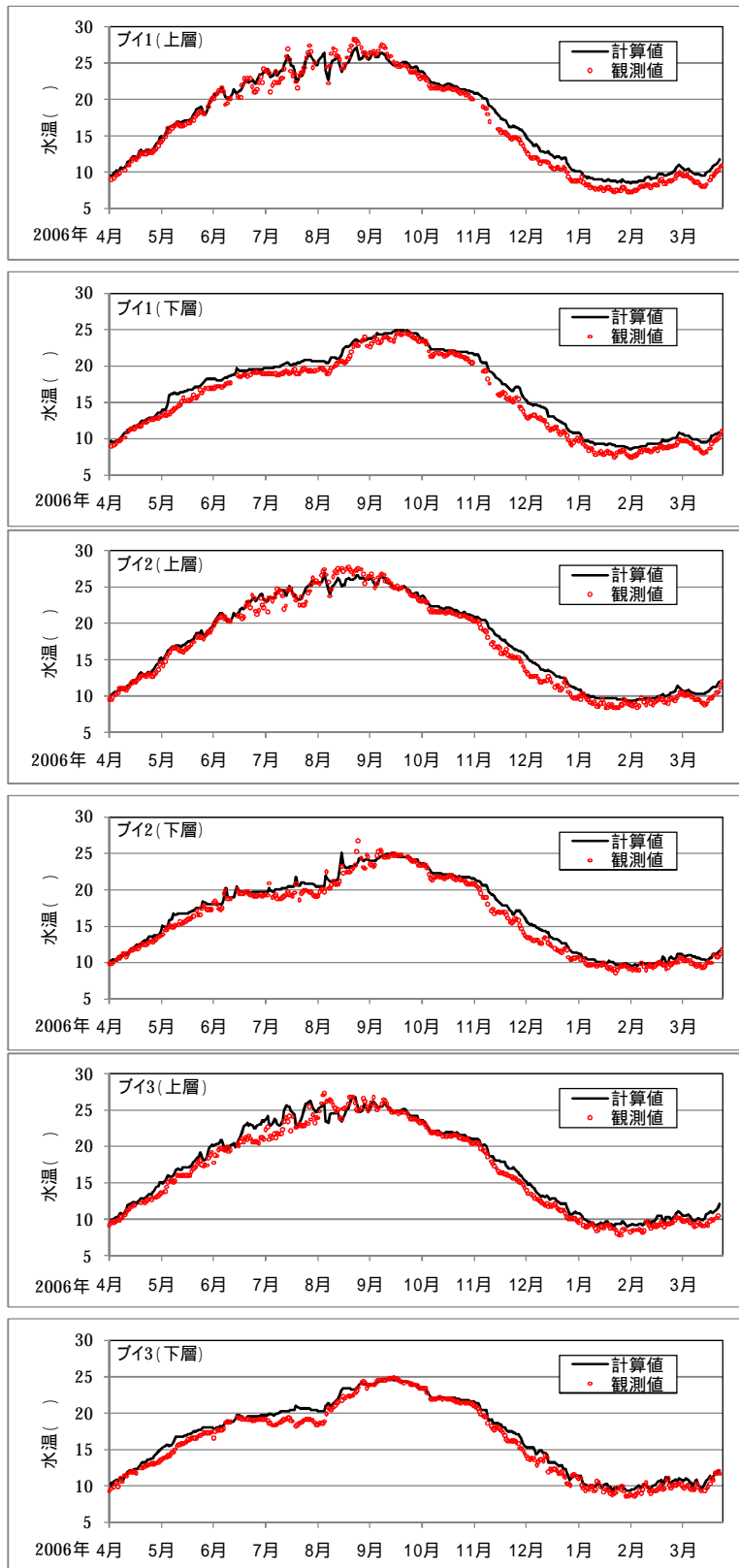


図 2.15(1) 日平均水温の比較 (2006 年度)

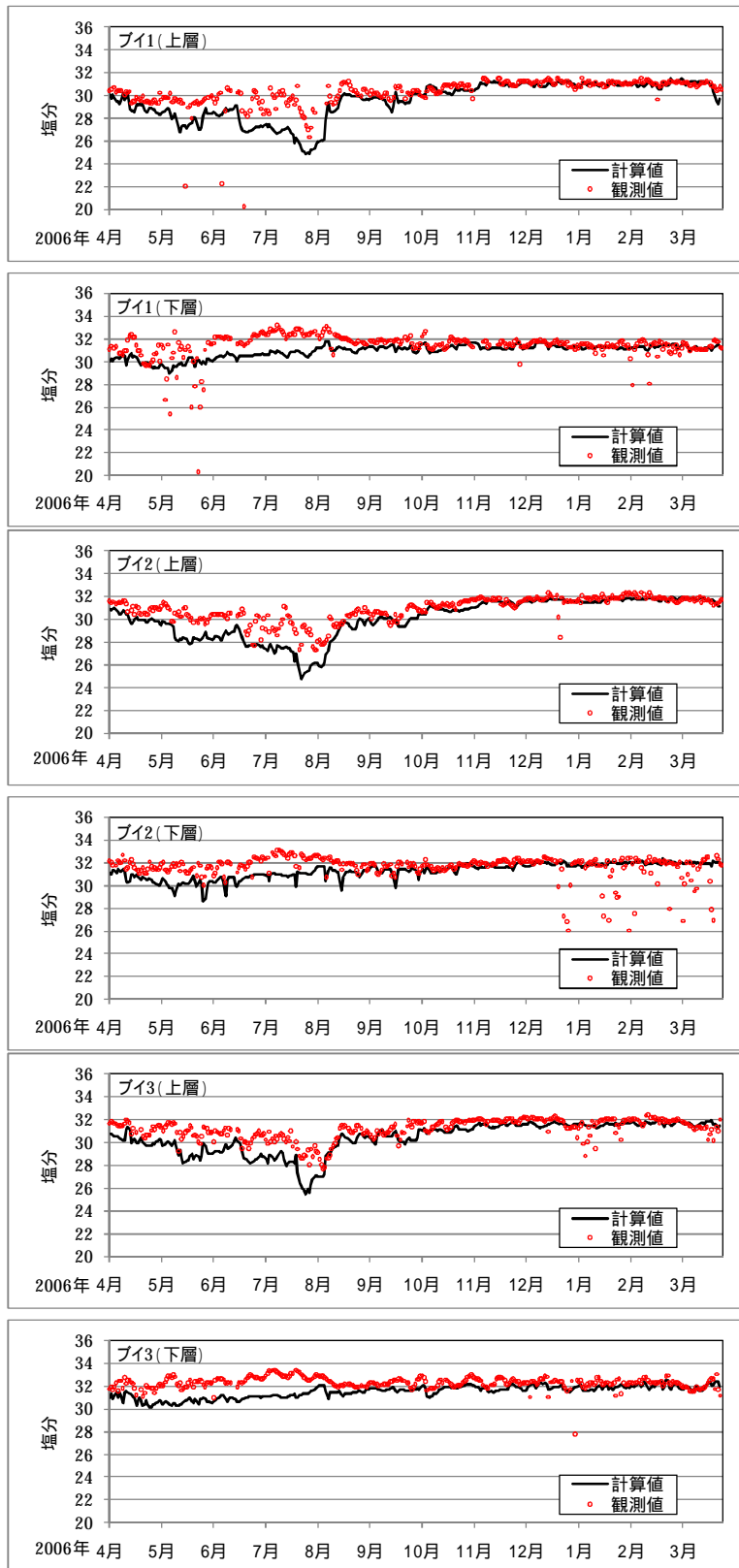


図 2.15(2) 日平均塩分の比較 (2006 年度)

2-2 水質 - 底質結合生態系モデル

2-2-1 計算条件

地域からのモデルに対する要望および上記の着目点を踏まえ、三河湾地域における生態系モデルについて以下の設定で計算を行った。

1) 計算項目

表 2.4 三河湾地域で構築する生態系モデルの計算項目

計算項目	
水質	植物プランクトン、動物プランクトン、有機物（デトリタス）、栄養塩類、溶存酸素、酸素消費物質（ODU）
底質	有機物、栄養塩類、マンガン、鉄、硫黄、メタン、溶存酸素
生物	付着藻類、懸濁物食者、堆積物食者、海草類、海藻類の現存量

表 2.5 三河湾地域で構築する生態系モデルの計算項目として考慮する生物

構成要素	対象とする生物
植物プランクトン	珪藻類 地域検討委員会が要望しているナノ・ピコプランクトンの考慮については、今年度実施されている現地調査結果等を踏まえて、来年度に対応を検討する予定。
動物プランクトン	カイアシ類
海藻類（SWD）	ノリ
海草類（SGS）	アマモ
付着藻類(DIA)	付着藻類
懸濁物食者(BSF)	アサリ
堆積物食者(BDF)	ベントス 地域検討委員会が要望しているベントスをメイオベントスとマクロベントスに区分することについては、今年度実施されている現地調査結果等を踏まえて、来年度に対応を検討する予定。

2) 初期条件

水質については、公共用水域水質調査結果および広域総合水質調査結果を基に設定した。底質の初期値は、30年間のスピンアップ計算結果から設定した。

3) 境界条件

湾口境界水質条件は、既往調査における実測値を基に日別値として与えた。なお、観測が行われていない期間は、前後の実測値を線形補間して設定した。

2-2-2 計算結果

1) 基準点における調査結果との比較

既往の観測地点のうちから図 2.16 に示した任意の地点において、水質の計算値と実測値の比較を行い、図 2.17～図 2.20 に示した。

渥美湾の奥部にある Stn.2 で観測値の高い値を再現できていないところがあるとともに、溶存酸素(DO)で観測値に比べ計算値がやや低い傾向がみられるものの、それらを除くと、概ね観測値の濃度レベルおよび季節変化を表現できているものと考えられる。

また、水質の計算値について、夏季の任意の1日における水平分布を図 2.17～図 2.20 に示した。

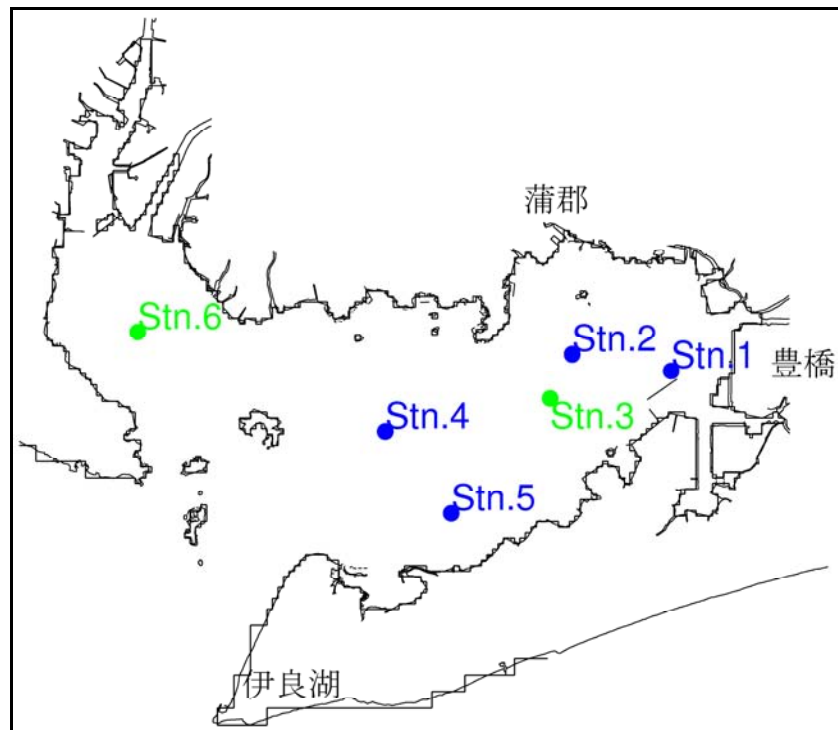
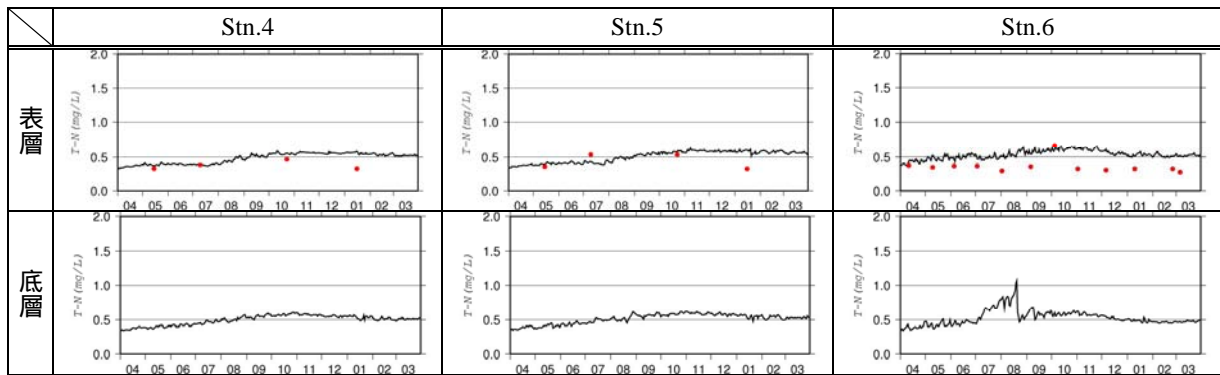
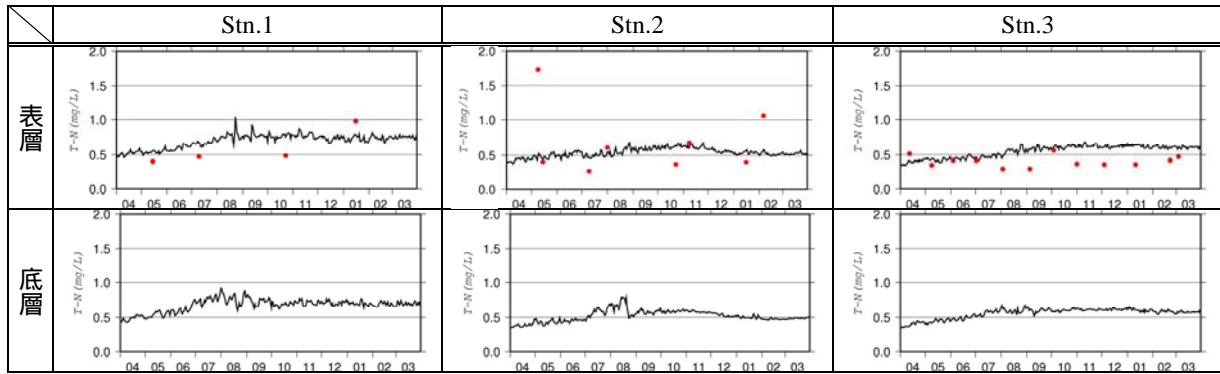


図 2.16 実測値と計算値の比較地点

a) T-N



図中の横軸の単位は月である

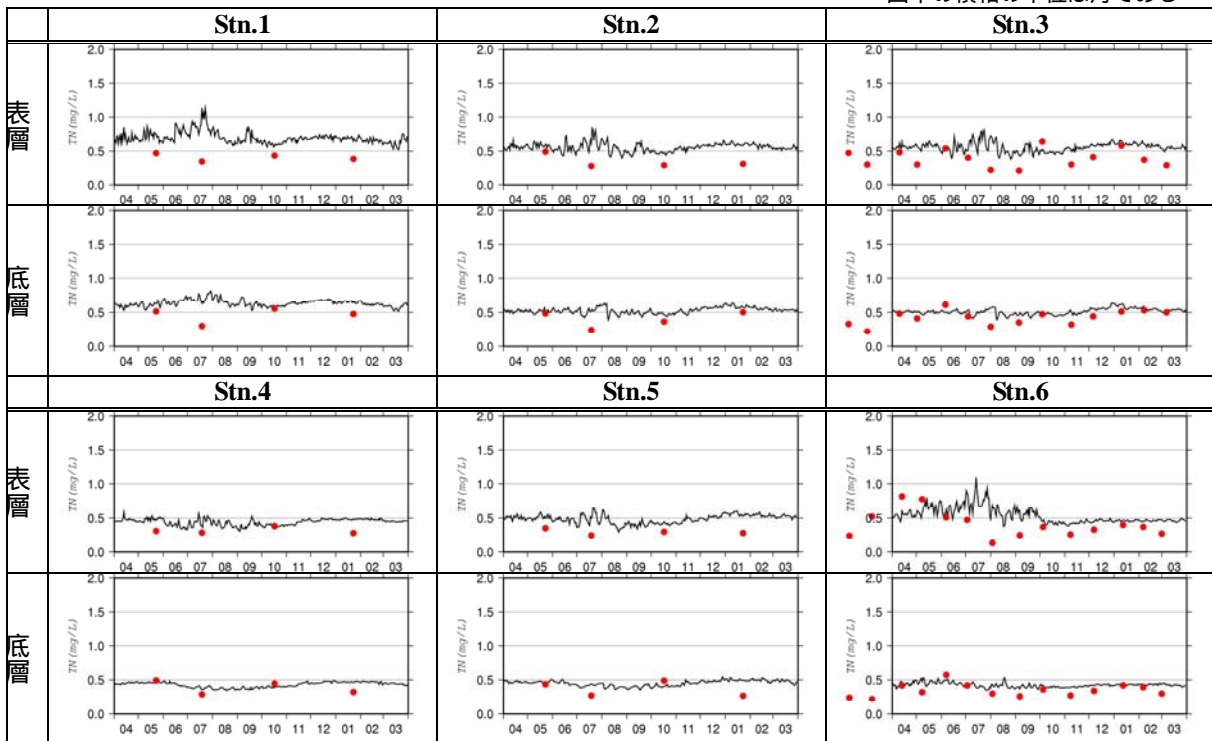


図 2.17 水質項目 (T-N) の計算値と実測値の比較 (● : 実測値、○ : 計算値)

(上 : 2001 年度、下 : 2006 年度)